

「認知症の親とその子ども」

認知症8050への対応を考える

80代の親と50代の子どもの世帯。

「親が認知症になったが、子どもにも精神的な問題があって親を支えきれない……」

「もともと精神疾患を抱えていたケースの親が認知症になってしまった……」

認知症の増加に伴い、地域の相談事業所等ではその家族の問題も一緒に取り組んでいく必要性に迫られています。

認知症の専門医と一緒に認知症8050への対応について考えてみませんか。



講師

久里浜医療センター 副院長
日本認知症学会専門医・指導医

松下 幸生 先生

日 時	令和2年3月16日（月）14：00～16：00	
場 所	鎌倉保健福祉事務所（〒248-0014 鎌倉市由比ガ浜2-16-13） ＊公共交通機関もしくは近隣のコインパーキングのご利用をお願いします。	
対 象	県内の地域包括支援センター・介護サービス事業所・市町高齢介護担当課・保健所等の職員 定員 30 名	
お申込み	FAX（裏面のFAX送信票をご利用ください）	3/10（火）まで

【お問 合 せ】

神奈川県鎌倉保健福祉事務所
保健福祉部 保健予防課

【FAX 送信票】

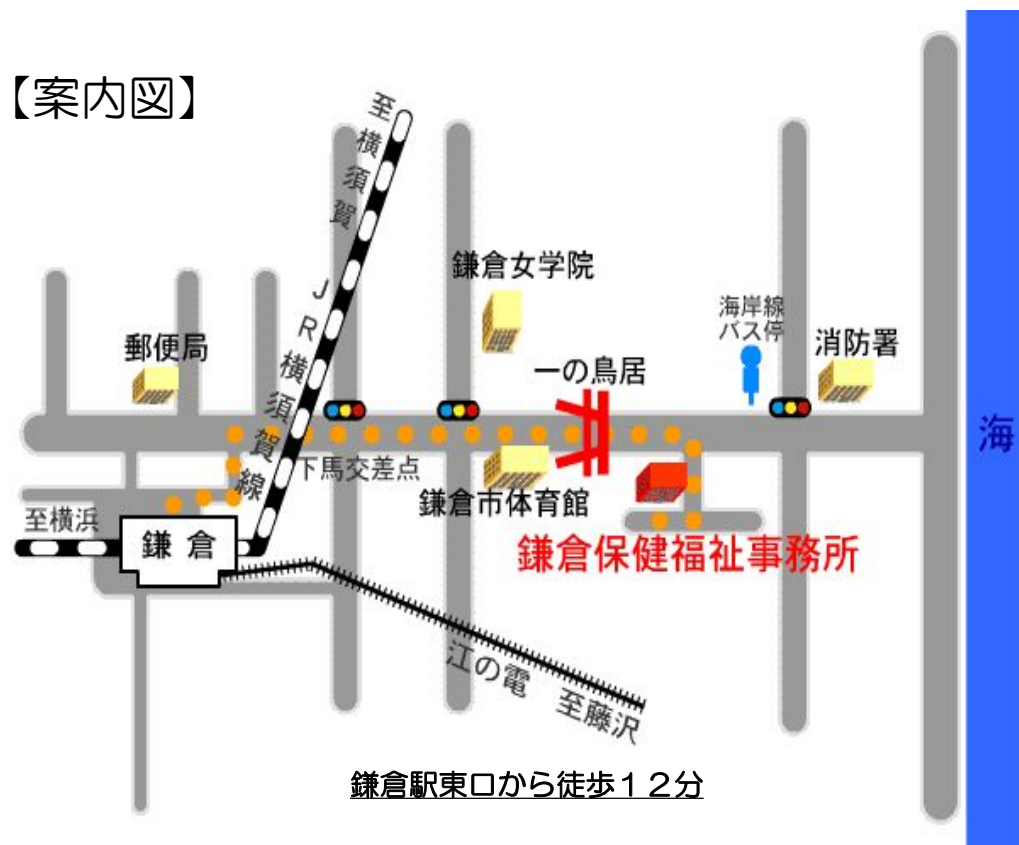
保健予防課 認知症担当者あて

「令和元年度認知症研修会」参加申込書 FAX：0467-24-4379

施設名	
電話番号	

参加者氏名	フリガナ	職種

【案内図】



*公共交通機関もしくは近隣のコインパーキングのご利用をお願いします。